

6日目 7月18日

会 場： 松江市営野球場

第1試合	～2回戦～																			
T E A M	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	R	H	E		
開 星	0	0	0	0	4	0	0	0	0							4	7	1		
松江南	0	0	0	0	0	0	0	0	0							0	2	1		
(投手-捕手)																				
・ (開)	曾田→百合澤 — 蓮池																			
・ (松)	福田悠→中澤→植田→福田悠 — 忰部																			
(長 打)	(二塁打)						(三塁打)						(本塁打)							
・ (開)	金森																			
・ (松)	福田悠																			
(審判) [球審] 林	[一塁] 瀧隆					[二塁] 本田					[三塁] 筑後									
(チーム成績)																				
チーム	打	安	点	二	三	本	振	四	犠	盗	残	併	守	備	失	暴	ボ	逸	打	妨
(開)	39	7	4	1	0	0	7	5	1	1	8	0			1	0	0	0	0	0
(松)	31	2	0	1	0	0	11	2	1	1	4	1			1	0	0	0	0	0

### 「開星、5回の好機生かす！」

大会6日目松江会場の第1試合は、開幕試合を勝利した開星と初戦の松江南の松江市対決となった。両校は松江地区大会でも対戦があり、この時は9対1で開星が勝利している。試合は得点の入らない投手戦となった。

試合は2回表、開星は安打と犠打、四死球で2死満塁としたが9番曾田が空振り三振に倒れ、無得点に終わる。3回裏、松江南は失策と犠打で1死3塁の絶好の好機を作り、スクイズを仕掛けるが捕手の好守で併殺に取られ先制することが出来ない。

試合が大きく動いたのは5回表、開星は連打で1死1・2塁とし3番前井出のライトへの適時打で1点を先制する。なおも1死満塁とし、5番小田原の三塁手強襲の適時打で1点を追加する。更に相手守備の乱れと7番金森の適時2塁打で、この回に一挙4得点で試合を決めた。

松江南は6回以降小刻みな継投で開星打線を無失点に防いだ。しかし、開星の2年生左腕、曾田と百合澤の継投を前に打線が僅か2安打と封じ込まれ、最後まで得点することが出来なかった。

